

受付番号：	2010-154
研究課題名	膀胱癌における組織型の違いによる糖鎖抗原の発現の検討
研究期間	西暦 2010年 7月（倫理委員会承認後）～ 2013年 6月
対象材料	<input checked="" type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 膀胱、尿管、腎盂） <input checked="" type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 膀胱、尿管、腎盂） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）
上記材料の採取期間	西暦 2003年 1月～ 2010年 6月
意義、目的	<p>申請者は、これまで膀胱癌における糖鎖、とくに GM3 糖鎖の発現が癌細胞の運動・接着・浸潤に大きく関与していること、そしてヒト膀胱癌組織において悪性度と大きな関連があることを明らかにしてきた。これらは培養細胞をもとに検討したものであるが、実際に採取されたヒト膀胱癌組織の組織標本や新鮮凍結標本切片を用いて、より臨床に近い状態で検討したのが今回の研究である。特に膀胱は、その構造的な特徴により、膀胱内注入や局所への注入療法等が可能な臓器であり、実現すれば非常に有用な治療手段となる。</p>
方法	<p>2003年1月～2010年6月までに東北大学病院において膀胱癌の手術をした患者において採取された病理組織標本、新鮮凍結標本切片を用いて、GM3を抽出し、発現のレベルと悪性度との関連を検討する。また膀胱癌細胞培養中にGM3糖鎖を添加し、外因性にGM3発現を増加させた場合の癌細胞の運動・接着・浸潤能の変化を検討する。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	<p>東北大学医学部泌尿器科学教室 内線 7278</p>